

プレスリリース

〈報道関係者各位〉

令和7年4月14日



大阪歴史博物館 特集展示
「新収品お披露目展」
を開催します

大阪歴史博物館では、令和7年(2025)6月25日(水)から9月1日(月)まで、8階特集展示室において、特集展示「新収品お披露目展」を開催します。



火曜日休館 ただし8月12日(火)は開館

大阪歴史博物館では開館以来、大阪を中心とする地域の歴史と文化を広く市民に紹介し、理解を深めていただくことを事業運営の基本方針としています。この基本方針に沿った資料の収集は博物館活動の根幹でもあり、当館では毎年、市民の皆様からご寄贈いただいたさまざまな資料を保管し、研究や展示等に活用しています。

今回の展示では、令和6年度に新たに館蔵品となった多くのご寄贈品から、未公開のものを中心に、約25件をご紹介します。

主な展示資料



せんしよくみ ほんちよう 染織見本帖

大正時代 大阪歴史博物館蔵(河崎晋也氏寄贈)

日本製の裂見本とオランダの HELMOND社で1927年以前に製作された裂見本で、合計98冊の中に700点を超える見本裂が綴り込まれています。ほとんどが木綿布への捺染プリントで、木綿布を多用するアジア地域向けの輸出裂見本であった可能性が高いものです。写真の部分は、もとは男児の祝着などのためのデザインだったのでしょうか、兜や印籠などがプリントされています。

※会期中に、同じ絵柄の色違いの部分に入れ替える場合があります。

しだもんまきえさげじゆう 梅に羊歯文蒔絵提重

江戸時代後期～大正時代 大阪歴史博物館蔵(小岸昌弘氏寄贈)

提重は、戸外での宴席に用いる携帯用の重箱です。蒔絵で梅花と羊歯の文様を施し、重箱、銘々皿、脚付膳、酒筒を収めます。梅・羊歯は、ともに春を寿ぐ瑞祥の草花であり、寄贈者の祖母、もしくはその上の代の者が花見で使用していたものといえます。花見の源流はハルゴト(田植え前にサクラを囲み供食する年中行事)であり、当時の花見のあり方をいまに伝えるものともいえます。



しょうごいんのみや ごりようじ ぼこ こん ぎょう いんかん どうあてりょうじ 聖護院宮御令旨箱と大坂金剛院歓道宛令旨

江戸時代後期 大阪歴史博物館蔵(高津豊氏寄贈)



高津氏寄贈資料は、南瓦屋町四丁目(現大阪府中央区瓦屋町)にあった聖護院御用所にかかわる古文書が多数を占めます。本山派修験の総本山である聖護院は、安政6(1859)年、大峯山奥駈道の諸堂社修復費用を調達する拠点として大坂に御用所を設けました。高津安之助は、自身も修験として金剛院歓道と名乗り、大坂市中に居住する修験の組頭を務め、大坂とその周辺で活動する修験や講の申請を取り次ぎました。写真の資料は、聖護院宮からの通達とそれを収めた箱で、これらを含む修験の大坂での活動を知らうる貴重な資料群です。

開催概要

【名称】 特集展示「新収品お披露目展」

【主催】 大阪歴史博物館

【会期】 令和7年6月25日(水)～9月1日(月)

【休館日】 火曜日 ※ただし8月12日(火)は開館

【開館時間】 午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

【会場】 大阪歴史博物館 8階 特集展示室(常設展示場内)
〒540-0008 大阪府中央区大手前4-1-32
電話 06-6946-5728 ファックス 06-6946-2662
<https://www.osakamushis.jp/>
(最寄駅)Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・⑨号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前

【観覧料】 常設展示観覧料でご覧になれます。
大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)
※()内は20名以上の団体割引料金
※中学生以下・大阪府内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、
障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

【展示資料数】 約25件

取材について

取材をご希望の場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

(連絡先) 大阪歴史博物館 企画広報課 企画広報係

電話 06-6946-5728 ファックス 06-6946-2662